

無題録

るに母親が中華鍋の回鍋肉を大皿に追加する。喜んだ父親は肉とキャベツを溶き卵に浸して食べよと聞くと、娘は「いらなうとするが、娘は溶き卵ごと父親から奪って食べる。父親はほづんとする」という内容だった。片山食品のにんじく漬けのCMでは、母親や子どもたちが「毎日三粒」と言

るに母親が中華鍋の回鍋肉を大皿に追加する。喜んだ父親は肉とキャベツを溶き卵に浸して食べよと聞くと、娘は「いらなうとするが、娘は溶き卵ごと父親から奪って食べる。父親はほづんとする」という内容だった。片山食品のにんじく漬けのCMでは、母親や子どもたちが「毎日三粒」と言

るに母親が中華鍋の回鍋肉を大皿に追加する。喜んだ父親は肉とキャベツを溶き卵に浸して食べよと聞くと、娘は「いらなうとするが、娘は溶き卵ごと父親から奪って食べる。父親はほづんとする」という内容だった。片山食品のにんじく漬けのCMでは、母親や子どもたちが「毎日三粒」と言

「五人組」プラス「一人」で否決は必然



合流点

九日の三条新聞によれば、平成二十年四月「き

らめきニュータウン」の用地買収に伴う地権者の支払うべき譲渡所得税など二百八十万円を、土地

谷村長に対して損害賠償を求め裁判の訴えを起

定期監査で「不適切処理」

め、長らく欠損となつてこす

この件は、昨年六月議

も村が負担する必要のない税金の負担であり、県

も「基金の目的から明らかに逸脱した不適正支

として指摘されたと聞いている。

諸事情があつたとして

も村が負担する必要のない税金の負担であり、県

も「基金の目的から明らかに逸脱した不適正支

出」との見解が示されて

一般会計で負担するこ

とは目的外で、金の出所

がない状況となつてい

た。

そこで「欠損」処理の

ため、同様事例で他の自治体で用いられた方法として、当時の村の幹部と

現役の課長以上の幹部に

よる「寄付」を募つて補

填することにしたとい

う。

村長は公職選挙法に違反するため、給与から寄付相当額を天引き(減額)する

ための条例改正案を

三月議会に提案したとい

ろ、五人組(本多啓三、本多隆峰、田中満男、小熊正、赤川幸子各議員)プラス一人の六人が否決したため、「寄付による補填」が宙に浮いてしまつたのだ。

そのため、最終手段として損害賠償を求める訴えを起すこととなつたのだらう。三月の「合流点」でも提訴すべしと載つていた。

大谷村長や議会は「単なる事務処理上のミス」という。それで村長の仕事がつまればだれでもできる。法律・規則にのつとり、ミスのない仕事を

をしてけると信じているから、役場は村民から信頼されているのではな

いか。

当時の最高責任者が「手続き上のミスで村に損害を与えたわけではな

い。寄付という手法はおかしい」と語っている。

十二年間村長をしたの

結となり、「一件落着」

のはずである。

人の噂も七十五日というが、今ごろは村民の記憶から消えていたはず

だ。

なぜ否決したのか。裁判にならぬと見くびつたか。何がなんでも小林豊彦のやることは絶対反対、ということだったのか。

二年半前にあつた三十

六年ぶりの村長選挙結果がトラウマとなつて、いまだに引きずっているの

か。情勢を見誤つたのだ

ろつか。自称常識人からは不思議だらけだ。

六月議会の最終日には、損害賠償請求のため

の訴訟費用の採決があ

る。おなじみの修正案で

「五人組」か、「プラス一人」で否決されるのは

必然だ。

否決されたら現状の「欠損」のまま凍結状態にすればよい。小林村長も議会が反対したためと宣言すればよいだけだ。

昨年の六月「議会だよ

り」から「定例会議決結果」として議案別・議員別〇×が掲載されるようになり、茶飲み話で「だれが賛成で反対はだれ」と話題に出るようになって

たことはよいことであ

る。

村政に関心をもつ村民が増え、確実に成長している。

(弥彦村・K・H)

新お任せ下さいリフォーム

株式会社 まる五建商

三条市上保内乙315 電話39-0555

SUMMER PARTY PLAN